2020年8月1日発行（毎月1回1日発行）通巻625号

Japan Arts Council

日本芸術文化振興会ニュース

国立劇場	国立演芸場	国立能楽堂	国立文楽劇場
伝統芸能情報館	国立劇場おきなわ	新国立劇場	芸術文化振興基金

2020
8

【今月の表紙】

〔東都名所（とうとめいしょ）　両国橋夕涼全図（りょうごくばしゆうすずみぜんず）〕

天保12年（1841）～天保13年（1842）
3枚続きの内
一立斎広重画〔初代歌川広重〕
国立劇場 蔵

研修生募集のご案内

将来、伝統芸能の舞台で活躍する志を持つ研修生を募集します。

歌舞伎俳優研修生、文楽（太夫・三味線・人形）研修生募集

【応募資格】中学校卒業（卒業見込みを含む）以上の男子で、原則として年齢23歳以下の者。経験は問いません。
【募集人員】若干名
【研修期間】令和３年４月から令和５年３月までの２年間
【研修時間】原則として、月曜日から金曜日までの平日午前10時から午後６時まで
【研修場所】歌舞伎俳優研修：国立劇場
文楽研修　　　：国立文楽劇場。ただし、文楽東京公演時（年４回）には国立劇場にて行います。
【研修内容】歌舞伎俳優研修：歌舞伎実技・立廻り・とんぼ・化粧・衣裳・日本舞踊・義太夫・長唄・鳴物・箏曲・体操・作法・講義・舞台実習・公演見学　他
文楽研修　　　：義太夫・三味線・人形実技・箏曲・胡弓・謡・狂言・日本舞踊・作法・講義・舞台実習・公演見学　他
【適性審査】研修開始後８か月以内に適性審査を実施します。
不合格となった場合は、研修生の身分を失います。
【受 講 料】無料
【宿　　舎】遠隔地に居住する研修生に対し、審査のうえ宿舎を有料で貸与し、空室がない場合は住宅費補助金を交付します。
【奨励制度】適性審査合格者には、研修期間中、伝統芸能伝承奨励費の貸与資格が与えられます。
【募集期間】歌舞伎俳優研修：令和２年10月１日（木）から令和３年１月29日（金）まで
文楽研修　　　：令和２年10月１日（木）から令和３年２月４日（木）まで
【選考方法】作文、簡単な実技試験、面接を行い選考します。
【選 考 日】令和３年２月から３月上旬を予定（日程が決まり次第、応募者にお知らせします）
【選考場所】歌舞伎俳優研修：国立劇場（東京都千代田区隼町4-1）
文楽研修　　　：国立文楽劇場（大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10）
【お問合せ】
歌舞伎俳優研修：国立劇場調査養成部養成課　TEL 03-3265-7105（直通）
文楽研修　　　：国立文楽劇場企画制作課養成係　TEL 06-6212-5529（直通）
午前10時～午後６時（土・日・祝日・年末年始を除く）
詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html

目　次　CONTENTS

研修生募集のご案内 ―― 1
国立劇場
稚魚の会　歌舞伎会　合同公演 ―― 2
音の会 ―― 3
国立演芸場
8月上席／8月特別企画公演／
8月中席／8月花形演芸会 ―― 4
8月特別企画公演／展示・イベント情報 ―― 5
伝統芸能情報館
伝統芸能情報館／国立劇場／
文化デジタルライブラリー ―― 6
研修便り ―― 7
国立能楽堂
8月公演 ―― 8
展示・イベント情報 ―― 9
国立文楽劇場
8月邦楽公演／8月文楽既成者研修発表会 ―― 10
展示・イベント情報 ―― 11
国立劇場おきなわ
8月公演 ―― 12
新国立劇場
8月公演 ―― 13
8月公演カレンダー ―― 14～17
芸術文化振興基金
文化芸術振興費補助金による助成事業 ―― 18
芸術文化振興基金による助成事業 ―― 19
インフォメーション ―― 20

【おことわり】
本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを低減するため、開催を中止・変更する場合がございます。
最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。

伝承者養成事業五十周年記念
八月歌舞伎俳優既成者研修発表会《小劇場》

第26回 稚魚の会 歌舞伎会 合同公演

修禅寺物語（しゅぜんじものがたり） 一幕三場

岡本綺堂＝作
中村時蔵＝監修・指導
坂東彌十郎＝指導

役	出演
面作師夜叉王	中村橋吾
姉娘かつら	中村好蝶
妹娘かえで	片岡市也
かえでの婿春彦	尾上松三
金窪兵衛尉行親	尾上貴緑
金窪の家来	市川福五郎
同	市川新八
修禅寺の僧	尾上音幸
下田五郎景安	大谷桂太郎
源左金吾頼家	中村梅寿

茶壺（ちゃつぼ）

岡村柿紅＝作
藤間勘祖＝振付
長唄囃子連中

役	出演
熊鷹太郎	市川升三郎
目代某	市川米十郎
田舎者麻胡六	中村橋光

傾城反魂香（けいせいはんごんこう） 一幕
土佐将監閑居の場

近松門左衛門＝作
中村梅玉＝監修・指導
中村歌女之丞＝指導

役	出演
浮世又平後に土佐又平光起	市川新十郎
土佐将監光信	市川新次
狩野雅楽之助	市川新八
百姓庄作	市川福五郎
同 鎌作	尾上音幸
同 豊造	尾上松三
同 米作	大谷桂太郎
土佐修理之助	尾上音蔵
将監北の方	中村竹蝶
又平女房お徳	中村梅乃

協賛＝松竹株式会社／一般社団法人伝統歌舞伎保存会

8月15日（土）～19日（水） 13時開演（17時10分終演予定）
全席指定4,200円（学生料金［電話・窓口で販売］：2,900円）
※障害者の方は２割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
好評発売中

●「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」出演者から

市川新十郎
（平成２年３月第10期歌舞伎俳優研修修了。市川團十郎門下。）

只今世の中は、未知の相手に翻弄され、大変な状況になっております。これを吹き払い、一日も早く安心して過ごせることを祈念して、微力ながら力の限り勤めさせて頂く所存です。この様な中、私共に研鑽の場を与えて下さり、感謝の念で一杯です。「傾城反魂香」の浮世又平を勤めさせて頂きます。万全の対策をもって挑みます。

市川升三郎
（平成10年２月、市川團十郎に入門。）

舞踊劇「茶壺」は狂言を元にした作品で、基本の所作はもちろん軽妙さが求められます。楽に観られて、クスッと笑える、そんな舞台になればいいのですが。こちらの芸が覚束ないと観ている方は疲れてしまうでしょう。心して稽古に励みます。三人の息が合うように、兄貴分として余裕なき余裕を作り出せれば幸いです。

中村梅乃
（平成10年３月第14期歌舞伎俳優研修修了。中村梅玉門下。）

関係各位の皆様のご理解とご尽力によりまして、私たちにとっての貴重な勉強の機会を継続できたことに心から感謝しております。なにしろ五ヶ月ぶりの演技です。まずは鈍った体と勘を取り戻し、ご指導くださる旦那方の教えを守り、古典をしっかりと学びたく存じます。舞台再開の喜びを胸に、全身全霊で勤めます。

中村梅寿
（平成27年３月第21期歌舞伎俳優研修修了。中村梅玉門下。）

この度、「修禅寺物語」の源左金吾頼家を勉強させて頂きます。「修禅寺物語」は研修生の頃澤村田之助先生に一番最初に教わった演目で人物一人一人の役柄や気持ちなどたくさんのことを教えていただきました。今のコロナによる不安な気持ちを吹き飛ばせるようなそんな舞台をお届けできればと思います。精一杯勤めます。

チケット購入方法
●インターネット＝［国立劇場チケットセンター］で検索
●電話（10時～18時）＝0570-07-9900／03-3230-3000（一部IP電話等）
●窓口（10時～18時）＝各劇場チケット売場
（国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場）

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
電話 03-3265-7411（代表）

伝承者養成事業五十周年記念
八月歌舞伎音楽既成者研修発表会《小劇場》

第22回 音（ね）の会

鳴物「外記猿（げきざる）」

パート	出演
笛	田中傳三郎
小鼓	田中傳九郎
立鼓	田中傳吉
大鼓	田中傳四郎
太鼓	田中佐次郎
長唄	長唄連中

長唄「石橋（しゃっきょう）」

パート	出演
唄	杵屋長寿郎
	杵屋彌六郎
	杵屋巳志郎
	杵屋生也
	杵屋佐陽助
	柏要二郎
三味線	杵屋長之介
	柏要吉
	杵屋巳佐
	杵屋巳千雄

歌舞伎「新版歌祭文（しんぱんうたざいもん）」 一幕二場
野崎村百姓久作住家の場
同 土手の場

パート	出演
浄瑠璃	竹本樹太夫
三味線	鶴澤卯太吉
浄瑠璃	竹本拓太夫
三味線	鶴澤繁二
浄瑠璃	竹本真太夫
三味線	鶴澤薫
	鶴澤卯太吉
黒御簾	歌舞伎囃子協会

役	出演
久作娘お光	中村芝のぶ
油屋娘お染	中村京妙
油屋丁稚久松	中村梅乃
久作女房	中村竹蝶
油屋下女およし	市川右若
油屋下男	片岡市也
百姓麦造	市川新十郎
同 作十	市川升三郎
駕かき重七	市川新次
駕かき助八	市川新八
船頭松三	市川福五郎
油屋後家お常	中村京蔵
百姓久作	市川新蔵

協賛＝松竹株式会社／一般社団法人伝統歌舞伎保存会

8月22日（土）・23日（日） 11時開演（14時終演予定）
全席指定2,700円（学生料金［電話・窓口で販売］：1,900円）
※障害者の方は２割引です。詳細はチケットセンターまでお問合せください。
好評発売中

●「音の会」出演者から

田中佐次郎
（平成23年３月第14期鳴物研修修了。田中傳左衛門社中。）

長い自粛生活が続き、新しい生活様式が取り入れられる中演奏会が出来るということ、一同感謝が尽きません。誠にありがとうございます。今回鳴物の演し物として「外記猿」を勉強させていただきます。猿回しの曲らしく、軽やかで賑やかな演奏をお楽しみいただければと思います。

杵屋巳佐
（平成22年３月第４期長唄研修修了。尾上菊五郎劇団音楽部長唄。）

此度は長唄「石橋」を勉強させて頂きます。

当たり前だった舞台上の日々が失われ早数ヶ月が経ちました。我々の様な職能を持つ者がこの様な状況で何が出来るのか、すべきなのかを考えた日々でありました。まずは心よりの感謝をもって演奏を勤めますので是非「音の会」にお越し下さいますようお願い申し上げます。

竹本樹太夫
（平成29年３月第22期竹本研修修了。）

今年度は歌舞伎「新版歌祭文」より「野崎村」を勉強させて頂きます。心中を決心する程のお染・久松の恋心。

二人の心中を止めるため久松への思いを断ち切るお光。その父久作の娘への思い。

それぞれの心の内を表現出来るよう勤めさせて頂きたいと思います。最後に新型コロナウィルスで皆様大変な思いをされていることと思いますが、少しでも皆様の心を癒せるよう頑張りたいと思います。

研修生募集のご案内
国立劇場
国立演芸場
伝統芸能情報館／研修便り
国立能楽堂
国立文楽劇場
国立劇場おきなわ／新国立劇場
8月公演カレンダー
芸術文化振興基金
インフォメーション

国立演芸場

公演情報

〒102-8656　東京都千代田区隼町4-1
電話　03-3265-7411（代表）

八月公演《好評発売中》

上席

8月1日（土）～10日（月・祝）
第一部　11時15分開演（12時45分 終演予定）
第二部　14時30分開演（16時00分 終演予定）

※本公演は休憩はありません。

【出演】
〈第一部〉昼気楼龍玉、古今亭駒治、柳家わさび、桃月庵こはく／桃月庵白浪（日替）、紙切り・林家楽一
〈第二部〉柳家さん遊、柳家小袁治、春風亭柳朝、柳家緑君／柳家花いち／柳家緑太（日替）、ものまね・江戸家小猫

全席指定1,600円（学生1,100円・シルバー1,400円）

中席

8月12日（水）～20日（木）
第一部　11時15分開演（12時45分 終演予定）
第二部　14時30分開演（16時00分 終演予定）

※本公演は休憩はありません。

【出演】
〈第一部〉桂文治、桂歌若、春風亭昇々／春風亭柳若／桂鷹治（日替）、曲芸・ボンボンブラザース／俗曲・桧山うめ吉（日替）、漫才・母心
〈第二部〉三遊亭円楽、三遊亭小遊三／三遊亭笑遊／立川談春（日替）、三遊亭竜楽／三遊亭愛楽／三遊亭楽生／三遊亭兼好／三遊亭王楽（日替）、桂宮治／春風亭昇也／桂竹千代／春風亭昇市（日替）、曲芸・ボンボンブラザース／俗曲・桧山うめ吉／漫才・ナイツ（日替）

全席指定1,600円（学生1,100円・シルバー1,400円）

特別企画公演　日本博寄席2020

8月11日（火）
第一部　11時00分開演（13時15分 終演予定）
第二部　14時30分開演（16時45分 終演予定）
第三部　18時00分開演（20時45分 終演予定）

【出演】
〈第一部〉落語・春風亭昇也／曲芸・鏡味味千代／落語・三遊亭小遊三／落語・瀧川鯉昇／紙切り・林家正楽／落語・柳家さん喬
〈第二部〉上方落語・笑福亭べ瓶／ものまね・江戸家小猫／落語・柳亭市馬／上方落語・桂米團治／曲芸・ボンボンブラザース／落語・三遊亭円楽
〈第三部〉落語・春風亭正太郎／曲芸・鏡味よし乃／上方落語・笑福亭仁智／落語・立川談春／落語・春風亭昇太／紙切り・林家今丸／上方落語・桂文枝

全席指定3,700円（学生2,600円）
「日本博」主催・共催型プロジェクト

第494回花形演芸会

8月15日（土）18時開演（20時 終演予定）

※本公演は休憩はありません。

【出演】落語・「権兵衛狸」林家はな平／上方落語・「竹の水仙」桂福丸／落語・「小言幸兵衛」古今亭文菊／漫才・母心／落語・「堀之内」鈴々舎馬るこ

全席指定1,500円（学生1,100円・シルバー1,350円）

特別企画公演
圓朝に挑む！

8月29日（土）　13時開演（15時 終演予定）

落語　「八景隅田川」　金原亭馬治
落語　「応挙の幽霊」　柳亭こみち
―仲入り―
新作落語　「今も昔も」　三遊亭粋歌
落語　「操競女学校」　橘家圓太郎

全席指定3,200円（学生2,200円）

特別企画公演
国立演芸特選会
笑福亭鶴光の上方落語を楽しむ会

8月30日（日）　13時開演（14時30分 終演予定）
※本公演は休憩はありません。

落語　桂伸治
落語　三遊亭笑遊
曲芸　ボンボンブラザース
上方落語　笑福亭鶴光

全席指定2,500円（学生1,800円）

チケット購入方法

●インターネット＝「国立劇場チケットセンター」で検索
●電話（10時～18時）＝0570-07-9900／03-3230-3000（一部IP電話等）
●窓口（10時～18時）＝各劇場チケット売場（国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場）
※障害者の方には割引があります。詳細はチケットセンターまでお問合せください。
※学生料金は窓口・電話で販売

展示・イベント情報

〈展示〉　1階演芸資料展示室◆入場無料

◉演芸資料展
榎本健一没後50年記念展「エノケン」

戦前、戦中、戦後と、昭和の時代を颯爽と駆け抜け、日本を笑いの渦に包みこんだ喜劇俳優・榎本健一（1904-1970）。「エノケン」の名で親しまれた彼は、才能豊かな仲間たちとともに、これまでにない新しい形式と内容をもった喜劇を創りつづけました。国立劇場には、ご家族から贈られた遺品が多数収蔵されています。今回の展示では、それらの中から舞台で実際に使用された台本や楽譜、往時の劇場プログラムや貴重な写真を通して、エノケンの仕事を振り返ります。

※同展示の紹介動画を無料公開中です。（公開期間：11月23日（月・祝）17時まで）
「国立劇場」公式YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/c/NationalTheatreTokyo

（動画視聴に伴う通信料については、お客様のご負担となります。）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休室しておりましたが、会期を延長して開催中です。

【会期】開催中～11月23日（月・祝）
【開室時間】10～17時
【8月休室日】21日（金）～28日（金）・31日（月）
※公演の都合により休室日が変更になる場合があります。
【入場制限】5名以内　※展示室内の混雑緩和のため
【問合せ先】国立劇場調査資料課
03-3265-7061（直）［平日10時～17時30分］

※詳細については、日本芸術文化振興会ホームページ又はお問合せ先でご確認ください。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、日程や時間等を変更することがございます。
最新情報については、日本芸術文化振興会ホームページ、又は各お問合せ先でご確認ください。

伝統芸能情報館

伝統芸能情報館

1階情報展示室◆入場無料

〈展示〉

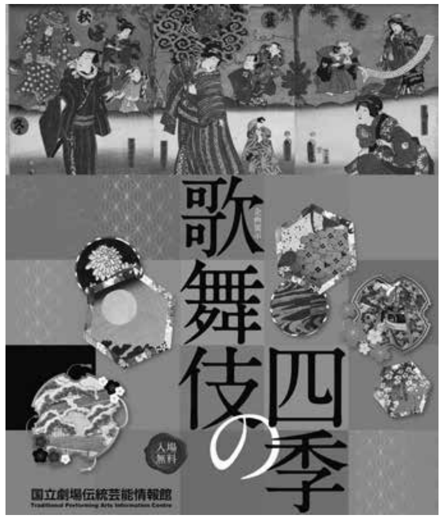
◉企画展示

「歌舞伎の四季」

歌舞伎の舞台に見られる四季の表象は、作品を効果的に魅せる重要な役目を果たしています。今回の展示では、錦絵や公演記録写真、舞台で用いられる衣裳や小道具、所蔵資料などを通して、江戸から今日まで舞台を彩り、創り上げられてきた歌舞伎の四季の美しさや技を紹介します。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しておりましたが、会期を延長して開催中です。

【会期】開催中～9月22日（火・祝）
【開室時間】10～18時
【8月休室日】なし
【入場制限】15名以内　※展示室内の混雑緩和のため
【問合せ先】国立劇場調査資料課
03-3265-7061（直通）［平日10時～17時30分］



◉公演記録鑑賞会

第479回〈特別公演記録鑑賞会〉9月11日（金）13時
お話「咒立・經立―再興とその考証―」
新井弘順（真言宗豊山派宝玉院住職）
『咒立・經立』［昭和55年11月　第15回声明公演］、国立劇場開場十五周年記念『咒立法會　北斗法』［昭和56年11月　第16回声明公演］
青木融光（真言）・山田俊和（天台）・高梨堅堂（真言）・大越恒徳（真言）・弧島晶由（真言）他

【定員】56名（応募者多数の場合は抽選）／無料／全座席指定
【応募締切】8月10日（月・祝）当日消印有効
【応募方法】1名様につき、往復はがき1枚でお申し込みください。（重複申込無効）
往復はがきの往信に①郵便番号・ご住所②お名前③電話番号④上映回数（第479回）⑤鑑賞会の日付（9月11日）。返信に郵便番号・住所・氏名を明記の上、左記の宛先にお送りください。
〒102-8656　東京都千代田区隼町4-1
国立劇場調査資料課「公演記録鑑賞会」係
※お寄せいただいた個人情報は、今回の募集以外の目的では一切使用いたしません。
※結果は返信はがきでお知らせします。
【問合せ先】国立劇場視聴室
03-3265-6479［開室日11時～16時］

◈

図書閲覧室（2階）

歌舞伎・文楽・演芸などの芸能関連図書や、国立劇場・国立演芸場の公演関連図書が閲覧できます。
（閲覧希望日前日までに要予約／入場制限：上限10名）
図書閲覧室（伝統芸能情報館2階）
◎開室時間：平日の11時～16時
◎休室日：土・日・祝日・月末整理日・夏季整理期間（8／25～31）
◎予約・問合せ先：03-3265-6300（直）［開室日11時～16時］
※詳細については、日本芸術文化振興会ホームページ、又はお問合せ先でご確認ください。

国立劇場

国立劇場視聴室（3階）

国立劇場・国立演芸場の主催公演のうち、記録映像・録音があるものを視聴できます。
（視聴希望日前日までに要予約／視聴料30分ごとに50円／入場制限：上限2名）
視聴室（国立劇場本館3階）
◎開室時間：平日の11～16時
◎休室日：土・日・祝日・公演記録鑑賞会開催日・月末整理日・夏季整理期間（8／25～31）
◎予約・問合せ先：03-3265-6479（直）［開室日11時～16時］
※詳細については、日本芸術文化振興会ホームページ、又はお問合せ先でご確認ください。

2020年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1 休
2 休	3	4	5	6	7	8 休
9 休	10 休	11	12	13	14	15 休
16 休	17	18	19	20	21	22 休
23 休	24	25 休 夏季整理期間	26 休	27 休	28 休	29 休
30 休	31 休 夏季整理期間					

文化デジタルライブラリー

https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/
伝統芸能を調べる・見る・学ぶためのウェブサイトです。
。調べる：国立劇場、国立演芸場、国立能楽堂、国立文楽劇場の過去の自主公演について調べることができます。
。見　る：錦絵やブロマイドなど、伝統芸能に関する資料をご覧いただけます。
。学　ぶ：舞台芸術の魅力をわかりやすく学べるコンテンツが揃っています。

研修便り

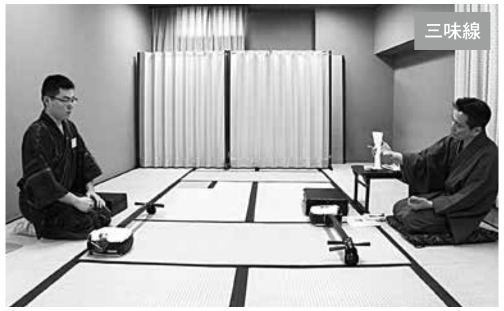
文楽研修　研修の様子をご紹介！

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、各分野で研修を行っています。今月は文楽研修についてのご紹介です。現在は第29期生太夫専攻2名が在籍し、日々稽古に励んでいます。

開講後の研修

開講から適性審査までの間は、研修生全員が太夫・三味線・人形のすべての基本を学びます。

三業の基礎をまんべんなく学びながら、自分の希望する専攻を決めていきます。



文楽研修は、通常大阪の国立文楽劇場で行われますが、東京の国立劇場で文楽公演があるときは、研修生も東京まで出張します。

適性審査後の研修

適性審査後はそれぞれの専門分野にわかれ、専攻に即した科目を中心に受講します。より実践に近い技芸の研修が増え、人形専攻では実際の文楽公演での舞台実習も多くなります。

研修発表会

毎年1月末頃、国立文楽劇場の舞台を使って日頃の研修の成果を披露します。講師の先生方を始めとする関係者のほか、一般のお客様も応援に駆けつけてくださいます。

研修を修了すると、文楽の幹部技芸員に入門し、
文楽技芸員として舞台に出演します！

10月1日より
●第30期文楽研修生募集開始！●

【問合せ】国立文楽劇場企画制作課養成係
TEL：06-6212-5529（直通）　https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html
午前10時～午後6時（土・日・祝日・年末年始を除く）

国立能楽堂

公演情報

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
電話 03-3423-1331（代表）

八月公演 《好評発売中》

《国立能楽堂夏スペシャル》

今月は恒例の夏スペシャル。〈親子で楽しむ〉公演ではお子様にもわかりやすい作品を、おはなし付きでお届けします。

企画公演 8月8日（土） 13時
親子で楽しむ能の会

（14時45分終演予定）

おはなし　本田芳樹

能（金春流）　小鍛冶（こかじ）　櫻間右陣

みどころ

「小鍛冶」
小鍛冶宗近は剣を打てとの勅命を受けますが相槌を務める者がいません。稲荷明神に祈ると明神が霊狐の姿で現れ、相槌を務めます。

企画公演 8月29日（土） 13時
親子で楽しむ狂言の会

（14時30分終演予定）

おはなし　茂山千三郎

狂言（和泉流）　雁礫（がんつぶて）　石田幸雄

狂言（大蔵流）　腰祈（こしいのり）　茂山千三郎

みどころ

「雁礫」
弓矢で雁を狙う大名。通りかかった男がその横から石礫で雁を打ち落としてしまいます。大名は自分が弓矢で射たのだと言い張り…。

「腰祈」
修行を終えた山伏が年老いた祖父を訪ねます。山伏が祖父の曲がった腰を伸ばそうと呪文を唱えると、たちまち腰が伸びますが…。

《国立能楽堂ショーケース》

能や狂言は難しくてわからない、能楽堂に行く機会がないといった皆様や、海外からお越しになった多くの皆様方に能・狂言の魅力を身近に感じていただけるよう「ショーケース公演」を開催します。能と狂言をおよそ2時間で体感できるコンパクトな内容で、初めての方でも気軽にお楽しみいただけます。

8月26日（水）・27日（木） 26日13時／27日19時

（15時・21時終演予定）

解説　佐々木多門

狂言（和泉流）　盆山（ぼんさん）　（26日）野口隆行　（27日）奥津健太郎

能（喜多流）　清経（きよつね）　（26日）友枝雄人　（27日）長島茂

みどころ

「盆山」
見事な盆山を持つ家に泥棒に入った男。男を見つけた主人は、あれは人でなく動物だとさんざんにからかいます。

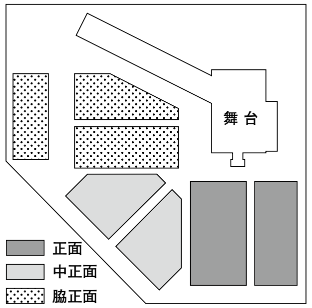
「清経」
夫・平清経の入水を知り悲しみに沈む妻の枕辺に、死んだ清経の霊が現れます。すれ違う夫と妻の想い、そして清経の到達した無常観が説かれる世阿弥作の名曲です。

「日本博」参画プロジェクト

※全席に字幕システム有。日本語・英語選択可。
※国立能楽堂ショーケースの字幕は、日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・フランス語。
※親子で楽しむ能の会・狂言の会の字幕は、日本語・英語・子供向け。

《入場料金》※(　)内は学生料金

	正面	脇正面	中正面
親子で楽しむ能の会 親子で楽しむ狂言の会	能　5,000円 狂言4,700円	3,300円 （2,300円）	2,800円 （2,000円）
	親子料金　大人2,300円・こども（18歳以下）1,000円 ※大人・こども各1枚以上、総計6枚まで		
国立能楽堂 ショーケース	2,000円	1,500円 （1,100円）	1,000円 （700円）



展示・イベント情報

〈展示〉 1階資料展示室◆入場無料

◉入門展
「能楽入門」

能のいでたち（扮装）に注目し、能の五番立に従って主な登場人物を面、装束、小道具等によって展示します。能や狂言は難しくてわからないと感じてこれまで能楽堂を訪れる機会が無かった皆様や、海外からお越しになった皆様にも能楽の魅力が身近に感じられるよう、初めての方でもお楽しみ頂ける展示です。

【会期】開催中～10月31日（土）
【8月休室日】11日（火）・16日（日）～24日（月）・31日（月）
【開室時間】11時～17時

【入場制限】　32名以内　※展示室内の混雑緩和のため
※公演日は開場～開演までにご観覧下さい。3密を避けるため、公演休憩時には展示室をご利用頂けません。お客様にはご不便をおかけしますが何卒ご理解ご協力下さいますようお願いいたします。
※日程や時間、入場制限等、変更となる可能性があります。詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問い合わせください。

〈イベント〉 2階大講義室◆受講無料事前申込制

◉国立能楽堂公開講座
9月7日（月）14時【応募締切】8月17日（月）必着
「10月の狂言と能」
講師　氷川まりこ（伝統文化ジャーナリスト）
【募集】70名※当方指定による指定席（※大講義室内の混雑緩和のため）応募多数の場合抽選
【応募方法】1講座につき、1名様1枚の往復はがきでお申し込みください。※重複申込無効
往信に①郵便番号②住所③氏名④連絡先電話番号⑤講座の日付⑥講座タイトル、返信に住所・氏名を明記の上、左記の宛先にお送り下さい。
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-18-1国立能楽堂「公開講座」係
※お寄せいただいた個人情報は、今回の募集以外の目的では使用いたしません。
※結果は返信はがきにてお知らせいたします。
※日程や時間等、変更となる可能性があります。詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問い合わせください。
※令和元年10月1日より郵便料金が変更になりましたのでご注意ください。
【問合せ先】国立能楽堂調査資料係
03-3423-1331（代）【平日10時～17時】

図書閲覧室（地下1階）
能楽関連図書や国立能楽堂公演記録資料の閲覧・視聴（予約制）
◎開室時間：11時～16時（開室日は開室日カレンダー参照）
◎図書閲覧（無料）・公演記録視聴（有料）のご予約：03-3423-1145（直）
【入室制限】12名以内（視聴覚ブース2名・図書閲覧10名）
※閲覧室内の混雑緩和のため
※日程や時間、入場制限等、変更となる可能性があります。
詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問合せください。

チケット購入方法
●インターネット＝［国立劇場チケットセンター］で検索
●電話（10時～18時）＝0570-07-9900／03-3230-3000（一部IP電話等）
●窓口（10時～18時）＝各劇場チケット売場（国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場）
※出演者等の変更についてはご了承ください。
※障害者の方は２割引です。詳細はチケットセンターまでお問合せください。

国立文楽劇場

公演情報

〒542-0073　大阪市中央区日本橋1-12-10
電話　06-6212-2531（代表）

八月　邦楽公演　《文楽劇場》
第23回　文楽素浄瑠璃の会

日吉丸稚桜（ひよしまるわかきのさくら）
駒木山城中の段
浄瑠璃　竹本錣太夫
三味線　鶴澤寛太郎

生写朝顔話（しょううつしあさがおばなし）
宿屋の段
浄瑠璃　豊竹咲太夫
三味線　鶴澤燕三
琴　鶴澤燕二郎

恋女房染分手綱（こいにょうぼうそめわけたづな）
重の井子別れの段
浄瑠璃　竹本千歳太夫
三味線　鶴澤清介

8月22日（土）　13時開演（16時終演予定）　字幕あり

全席指定　4,200円（学生料金［電話・窓口で販売］2,900円）
※障害者の方は2割引きです。詳細はチケットセンターまでお問合せください。　好評発売中

伝承者養成事業50周年記念
八月　文楽既成者研修発表会　《小ホール》
若手素浄瑠璃の会

一谷嫩軍記（いちのたにふたばぐんき）
組討の段
浄瑠璃　竹本碩太夫
三味線　鶴澤清志郎

菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）
寺子屋の段
浄瑠璃　豊竹芳穂太夫
三味線　鶴澤友之助

8月28日（金）　13時開演（15時10分終演予定）

全席指定　1,000円（学生料金［電話・窓口で販売］：700円）
※障害者の方は2割引きです。詳細はチケットセンターまでお問合せください。　好評発売中

チケット購入方法

●インターネット＝［国立劇場チケットセンター］で検索
●電話（10時～18時）＝0570-07-9900／03-3230-3000（一部IP電話等）
●窓口（10時～18時）＝各劇場チケット売場
（国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場）

展示・イベント情報

〈展示〉　1階資料展示室◆入場無料

◉企画展示
「文楽の四季」
文楽作品のなかから、自然の風景が描かれた舞台背景画や衣裳などを取り上げ、日本の四季の美しさをご紹介します。同時開催の「文楽入門」では、文楽の基本的内容をわかりやすく解説します。

【会期】開催中～9月13日（日）
【開室時間】11時～16時・入場無料

※日程や時間等、変更となる可能性がございます。

〈イベント〉　3階小ホール◆入場無料

◉公演記録鑑賞会
第435回　10月7日（水）　14時
文楽「壇浦兜軍記」
阿古屋琴責の段
竹本津駒太夫（現　錣太夫）、鶴澤清介、桐竹勘十郎、吉田文司、吉田玉志　他
（平成31年1月　国立文楽劇場・カラー）

【定員】73名〈当方抽選による座席指定〉※往復ハガキによる事前申込制
【応募締切】9月7日（月）当日消印有効
【応募方法】（ハガキ1枚で1名様・重複無効）
往復ハガキの往信には①鑑賞会の上映回数（第435回）②鑑賞会の日付（10月7日）③郵便番号④ご住所⑤お名前（ふりがな）⑥電話番号を、返信には必ず①郵便番号②ご住所③お名前（返信宛先）を明記の上、左記の宛先までご応募ください。
〒542-0073　大阪市中央区日本橋1-12-10　国立文楽劇場「公演記録鑑賞会」係

※お寄せいただいた個人情報は、今回の募集以外の目的では使用いたしません。
※応募多数の場合は抽選となります。結果は返信ハガキでお知らせします。
※コロナウイルス感染症対策のため、当方で座席を指定させていただきます。

図書閲覧室（3階）
文楽関係図書／国立文楽劇場公演記録資料〈文楽〉
◎開室時間：平日：11時～16時
◎図書・視聴ともに要予約：TEL.06-6212-2531（代）
◎8月休室日：土曜日・日曜日・祝日・月末整理日
※詳しくはホームページをご覧いただくか、右記電話番号までお問い合わせください。

2020年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1 休
2 休	3	4	5	6	7	8 休
9 休	10 休	11	12	13	14	15 休
16 休	17	18	19	20	21	22 休
23 休	24	25	26	27	28	29 休
30 休	31 休 整理日					

□開室日　開室時間：11:00～16:00

研修生募集のご案内
国立劇場
国立演芸場
伝統芸能情報館／研修便り
国立能楽堂
国立文楽劇場
国立劇場おきなわ／新国立劇場
8月公演カレンダー
芸術文化振興基金
インフォメーション

国立劇場おきなわ 公演情報

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1
TEL. 098-871-3311（代表）
https://www.nt-okinawa.or.jp/

■8月公演のご案内

▶第55回普及公演　琉球舞踊鑑賞教室

新たな観客層の発掘を目指し、琉球舞踊の入門編となる普及公演を制作します。琉球舞踊の歴史や、鑑賞のポイント等を親しみやすく解説しながら、古典舞踊と雑踊の名作を中心に、創作舞踊「海のちんぼーらー」（作舞・真境名由苗）や軽快な舞踊劇「戻り駕篭」も交えご紹介します。当劇場組踊研修修了生を含め、若手を中心とした出演者で、琉球舞踊の世界をご堪能いただきます。

【日程】8月8日（土）14時開演　字
【料金】親子2,100円　一般2,100円

2020年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

▶第56回普及公演　親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」

組踊の魅力を次世代へ伝え、新たな観客層の育成を図るため、親子で親しみやすい内容の鑑賞教室を開催します。第一部では、「組踊の楽しみ方」と題して組踊の鑑賞方法、約束事を親しみやすく紹介します。第二部では、初心者でも鑑賞しやすい敵討ものの名作「万歳敵討」（作・田里朝直）を技能保持者の指導のもと、当劇場研修修了生も交えて上演します。

【日程】8月15日（土）
14時開演（15時30分終演）　字
【料金】親子2,100円　一般2,100円

▶第121回琉球舞踊公演　琉球舞踊鑑賞会

近年の沖縄の様々な舞台芸能公演において、次世代を担う中堅の舞踊家達による、多彩な琉球舞踊の世界をご堪能いただきます。優雅で気品漂う様式が特徴の古典舞踊、生き生きと開放的な躍動感みなぎる雑踊には、日々めまぐるしく変化する時代の中でも、いつまでも変わることのない形式と美しさがあります。これらの古典舞踊、雑踊の代表的な作品を、新進気鋭の舞踊家達による個性豊かな魅力溢れる一人舞でご紹介します。

【日程】8月29日（土）14時開演　字
【料金】3,200円

※都合により、当初予定していました琉球舞踊公演　月の美しゃ～美ら島の息吹～から変更しております。

レファレンスルームのご案内

【開室日時】火・水・木・第2・第4土曜日
10時～12時・13時～17時
【休室日】月・金・日・第1・3・5土曜日
祝日・慰霊の日（6月23日）
年末年始（12月28日～1月3日）
【閲覧資料】①芸能関係図書・雑誌・新聞等
②国立劇場おきなわ自主公演記録映像
（※視聴は有料30分ごとに50円）

資料展示室便り

令和2年度第1回企画展
「極める―人間国宝の横顔―」
【展示期間】開催中～9月20日（日）
【開室時間】10時～18時（入場無料）
（夜公演の際は、閉館まで開室）
【展示内容】芸能を極め、人間国宝に指定された皆さんの、様々な一面を紹介します。

字 字幕（標準語訳を表示）　英語のイヤホンガイドあり

新国立劇場

NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1
電話03-5351-3011（代表）
https://www.nntt.jac.go.jp/

8月主催公演のご案内

演　劇　《中劇場》

イヌビト ～犬人～

未来のおとなと、かつての子どもたちへ―
あのすてきな4人に10人のダンサーが加わって再結集！

【日程】2020年8月5日（水）19時、6日（木）19時、7日（金）13時、8日（土）13時、9日（日）13時、10日（月・祝）13時、12日（水）13時、13日（木）13時、14日（金）13時、15日（土）13時、16日（日）13時
【料金】S席　6,600円（こども3,300円）
A席　5,500円（こども2,750円）
B席　3,300円（こども1,650円）
【チケット】発売中
【スタッフ】作・演出：長塚圭史
振付：近藤良平
【キャスト】近藤良平　首藤康之　長塚圭史　松たか子
入手杏奈　岩渕貞太　碓井菜央　大久保祥太郎　黒須育海
柴 一平　島地保武　中村 駿　西山友貴　浜田純平

・適切な間隔を保つため、前後左右をあけた席配置（全指定席）といたします。
・お連れ様同士（ご家族、お子様連れ含む）でも間隔をあけて着席いただきます。
・すでにチケットをお持ちのお客様には、座席の移動をお願いする場合がございます。該当のお客様には別途ご連絡いたします。

ご来場に当たってお客様へのお願い、新国立劇場における感染予防への取り組みについては下記のURLよりご覧ください。
https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

（上段左より）近藤良平、首藤康之
（下段左より）長塚圭史、松たか子

チケットのお申込み
新国立劇場ボックスオフィス（年末年始を除き、年中無休）
インターネット http://nntt.pia.jp/　電話（10：00～18：00）03-5352-9999
※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくはお問合せください。

8月公演カレンダー

太字 は日本芸術文化振興会の主催公演

国立劇場チケットセンター
(午前10時～午後6時)
0570-07-9900
／03-3230-3000(一部IP電話等)

国立劇場　**国立演芸場**

8月		大劇場	小劇場	演芸場
1	土			**上席** 1日（土）～10日（月）
2	日			立川談笑独演会 夢空間 03-5785-0380
3	月		**文楽公演** 中止 3日（月）～9日（日）	
4	火			お座敷白酒 ネイティブランプーン 050-3655-6277
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月			
11	火			**特別企画公演**
12	水			**中席** 12日（水）～20日（木）
13	木			
14	金			
15	土		**稚魚の会・歌舞伎会合同公演** 15日（土）～19日（水）	**花形演芸会**
16	日			《噺小屋ニューノーマル納涼興行》葉月の独り看板 蜃気楼龍玉「怪談牡丹燈籠」三夜連続公演 いがぐみ 03-6909-4101
17	月			
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土	創流四十周年記念 旭流舞踊会 旭彦太郎 03-3394-3874	**音の会**	
23	日			
24	月			
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			**特別企画公演**
30	日			**特別企画公演**
31	月		落語研究会 TBSテレビ 03-3746-6666	

国立能楽堂　大阪 **国立文楽劇場**

8月		能楽堂	文楽劇場	文楽劇場小ホール
1	土			
2	日			山村流ゆかた会 山村光 06-6761-8114
3	月	能楽公演2020～新型コロナウイルス終息祈願～ 能楽協会 03-5925-3871		
4	火			
5	水			
6	木			
7	金		**上方歌舞伎会** 中止	
8	土	**企画公演**		
9	日			
10	月			
11	火			
12	水	梅若研能会 三月振替公演 梅若研能会 03-3466-3041		
13	木			
14	金			
15	土			
16	日			
17	月			
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土		**文楽素浄瑠璃の会**	
23	日		第2回山村友五郎の会 山村友五郎 06-6761-4039	桂文我独演会 文我の会事務局 090-1414-9883
24	月			
25	火			
26	水	**国立能楽堂ショーケース**		
27	木			
28	金			**若手素浄瑠璃の会**
29	土	**企画公演**		
30	日			
31	月	山本則俊喜寿記念 山本会別会 大蔵流狂言山本事務所 03-3381-2208		

自主公演以外については、それぞれの記載の電話番号にお問合せください。
なお、主催者の都合により掲載していない公演がございます。

8月公演カレンダー

新国立劇場主催公演に関する
◆お問合せ先◆
新国立劇場ボックスオフィス
TEL. 03-5352-9999

国立劇場おきなわの主催公演に関する
◆お問合せ先◆
国立劇場おきなわ
チケットカウンター
TEL. 098-871-3350

新国立劇場

太字 は新国立劇場の主催公演

8月		オペラパレス	中劇場	小劇場
1	土			
2	日			
3	月			
4	火			
5	水		**演劇公演「イヌビト〜犬人〜」** 5日（水）〜16日（日）	
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月			
11	火			
12	水			
13	木			
14	金			
15	土			
16	日			
17	月			
18	火			
19	水			
20	木			**演劇研修所第14期生 朗読劇＋ダンス「オズマ隊長」** 20日（木）〜23日（日）
21	金			
22	土	**オペラ公演** 中止 **子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ『Super Angels スーパーエンジェル』**		
23	日			
24	月			
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月			

国立劇場おきなわ

太字 は国立劇場おきなわの主催公演

8月		国立劇場おきなわ大劇場	国立劇場おきなわ小劇場
1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土	**普及公演**	
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土	**普及公演**	
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
29	土	**琉球舞踊公演**	
30	日		
31	月		

国立劇場
東京都千代田区

国立演芸場
東京都千代田区

伝統芸能情報館
東京都千代田区

国立能楽堂
東京都渋谷区

国立文楽劇場
大阪市中央区

国立劇場おきなわ
沖縄県浦添市

新国立劇場
東京都渋谷区

芸術文化振興基金

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
電話03-3265-6302（直通）　https://www.ntj.jac.go.jp/kikin.html

■日本芸術文化振興会の助成事業の事例紹介

振興会で実施している2つの助成事業により支援した活動をご紹介します

芸術文化振興基金による助成事業

芸術文化振興基金の運用益により、芸術団体等の行う文化の振興又は普及を図るための活動に対して助成しています。

市制施行60周年記念　郷土芸能フェスティバル
［分野：地域の文化振興等の活動　民俗文化財の保存活用活動］　**西之表市**

【活動概要】

鹿児島県の種子島北部に位置する西之表（にしのおもて）市。この地では古くから多くの郷土芸能が伝わっていたが、地域を取り巻く環境の変化や高齢化などによりその数は次第に減少しつつある。

先人の残した郷土芸能は各地域のみならず市民の財産であるという考えのもと、2018年11月25日、「市制施行60周年記念 郷土芸能フェスティバル」が西之表市民体育館敷地内で開催された。10年ぶりのフェスティバルでは、各地域11の郷土芸能（種子島大踊、横山盆踊、古田獅子舞、住吉源太郎踊、安納棒踊、寺之門花踊、古田棒踊、ヨンシー踊、洲之崎どすこい踊、田之脇棒踊、兵児踊）が一同に会し、その伝統芸を披露した。

【助成を受けて】

種子島の郷土芸能の多くは、毎年10月に催される願成就祭で披露されます。神社に料理を持ち寄って酒を酌み交わし、各集落に伝わる郷土芸能を奉納するものです。そうした郷土芸能を広く市民に公開し、文化財保護への関心を高めるとともに、各保存会における伝承活動の重要性を再認識してもらおうと、西之表市では昭和33年の市制施行から10年ごとに大きな郷土芸能大会を開催しています。

通常、地域の郷土芸能を一度に集めるのは困難です。しかし、今回のフェスティバルでは助成金により出演団体（保存会）に手厚い支援を行うことができ、11団体もの参加が実現しました。保存会も新しい踊り手の育成や練習回数の増加に力を注ぐなど、よい担い手を育成していかなければ、郷土芸能の保存や発展は望めません。フェスティバルの成功ももちろん大切ですが、保存会のそうした意識高揚こそが、私たちにとって一番の成果だったと感じています。

出演団体が多い分、1団体に当てる時間は15分程度。短い時間の中で、その芸能の由来や特徴、団体の頑張りなどを紹介するのはとても苦労しましたが、助成金を受けて作成したポスターやチラシの効果もあり、多くの市民がフェスティバルを楽しんでくれました。また、種子島は民俗芸能の宝庫とも言われており、鑑賞のために遠くから訪れる観光客も多くいます。「種子島西之表市いけばな展」「種子島鉄砲村商工フェスティバル」など、他イベントと同時開催することで、観光産業への波及効果も大きかったと自負しています。

今回は県や市指定の郷土芸能だけではなく、未指定の郷土芸能にも参加してもらうことができました。意欲を持った団体の継続的な活動のためにも、今後は、市指定選定へのバックアップなどにも力を入れながら、助成金も利用させていただき、郷土芸能の保存に広く尽力していきたいと思っています。

市制施行60周年記念　郷土芸能フェスティバル

（「平成30年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集」より抜粋）

文化芸術振興費補助金による助成事業

文化庁からの補助金により、芸術の水準向上に直接的な牽引力となる舞台芸術の創造活動や国際的な実演芸術の公演活動、劇場・音楽堂等が主体となって行う実演芸術の創造発信、優れた日本映画の製作活動等に対して助成しています。

定期演奏会　みなとみらいシリーズ
［分野：舞台芸術創造活動活性化事業　音楽］**公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団**

【活動概要】

楽団のポスト指揮者によるプログラムを中心に、国内外で活躍する指揮者・ソリストを客演に招き、芸術の粋を集めたクラシック音楽を演奏している神奈川フィルハーモニー管弦楽団の「みなとみらいシリーズ」。2018年度は、「感動」「生きる力」「癒し」「幸せ」「創造」「平和」など、音楽が伝える力を見つめ直した「音楽の道しるべ」をテーマに、計12公演を横浜みなとみらいホールで開催した。

沼尻竜典や小泉和裕、若手注目株のロリー・マクドナルドら著名な指揮者に加え、アルセーニ・タラセヴィッチ＝ニコラーエフ（ピアノ）、スヴェリトン・ルセフ（ヴァイオリン）、藤村実穂子（メゾ・ソプラノ）など世界的なソリストを迎えての多彩なラインナップとなった。

【助成を受けて】

「みなとみらいシリーズ」は当楽団の主幹シリーズですが、今年度も定期演奏会の名に恥じない数々の名演奏をお届けすることができました。例えば、沼尻竜典氏を指揮に迎えた第339回公演のマーラー「交響曲第9番」。あるいは、2001年に大阪で起きた附属池田小事件を元にした楽曲で、楽団常任指揮者・川瀬賢太郎が文化庁芸術祭新人賞を獲得する契機にもなった権代敦彦「子守歌」を盛り込んだ第343回公演のプログラム。そうした質の高い活動を推進するにあたり、余裕をもった弦楽器の編成を組むことができ、さらに、指揮者指定の楽譜の版を揃え、パイプオルガンなどの特殊楽器もリハーサルから欠けることなく準備ができたのは、助成金の大きな恩恵です。事業の安定した実施・継続が確実なものとなり、全体的に妥協することなく活動を進めることができました。

ホテルや美術館、飲食店などがホールの近隣に集中しているため、コンサートの半券で優待を受けられる仕組みを構築するなど、地域全体に対する経済的波及効果を生み出すべく尽力しています。また今シリーズでは、週末に時間を作れない方に向けて金曜日の夜公演を2回実施し、観客の裾野を広げる努力を続けています。

収支を鑑みれば、オーケストラの活動は現代の経済合理性からかけ離れていると言えます。しかし、質の高い演奏を維持・向上させていくことで、長い歴史を誇るクラシック音楽の魅力を現代に伝え、人々の内面を豊かにするという私たちの目的は、公益性にも大いに繋がっていると感じています。また、都内への移動が厳しい高齢者や車椅子の方々が神奈川県内で質の高い芸術を享受する機会を創出するという意味でも、大きな役割を担っています。2020年の楽団創立50周年に向け、地域のニーズをより広く拾い上げ、充実した活動を続けていきたいと思っています。

定期演奏会　みなとみらいシリーズ

（「平成30年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集」より抜粋）

It's not just art. It's how we see the world.

自然を敬い畏れ、尊重する感性。暮らしの中に四季を取り入れる美意識。伝統を現代に生かす柔軟な発想。日本の美に目をこらすと、その奥に、私たちの多様な考え方が見えてくるはずです。さあ、日本博をめぐって、美しさの真髄まで味わってください。

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO

「日本の美」を体感する多様な公演・展覧会・芸術祭を全国で開催中 www.japanculturalexpo.bunka.go.jp

掲載されている公演・展覧会・芸術祭などの詳細はホームページへ。https://www.ntj.jac.go.jp/nihonhaku/credit/　文化庁　独立行政法人 日本芸術文化振興会

日本芸術文化振興会からのお知らせ

文化芸術を支援する２つの基金が設置されました
皆様からのご支援をお願いいたします

新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の文化芸術団体は長期にわたる公演中止など、非常に厳しい状況に置かれています。

国立劇場各館においても既に準備を進めていた公演を含め、長期間休業いたしました。公演中止により、伝統芸能を担う実演家や技術者の方々に活動の場を提供できないことで、伝統芸能の保存と継承も厳しい局面にさらされています。

様々な文化芸術活動の存続を支援し、また、国立劇場各館の公演等の事業を継続するため、この度、２つの基金を設け、皆様からのご支援を募ることといたしました。

「我が国の文化芸術活動を守り、様々な文化芸術団体の活動を後押ししたい」

↓

文化芸術復興創造基金

↓　↓　↓

「舞台芸術・美術等」
「地域文化関係」
「文化財関係」
「映画芸術関係」

※文化芸術団体からの要望を審査の上助成します。
※ただし、対象とする活動を限定して行う場合があります。

「世界に誇る伝統芸能を未来に継承する国立劇場各館の事業を応援したい」

↓

くろごちゃんファンド

↓　↓　↓

「伝統芸能の公開」
（歌舞伎 文楽 舞踊 邦楽 雅楽・声明 民俗芸能 大衆芸能 能楽 琉球芸能ほか）

「その他伝統芸能の保存振興」
（伝承者の養成 調査研究、資料の収集・活用 施設・設備の充実ほか）

※国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場・国立劇場おきなわの各館での事業に役立てさせていただきます。

ご案内ホームページ……https://www.ntj.jac.go.jp/topics/top/2020/328.html

ご寄附により税制上の優遇措置を受けることができます。

詳しいご案内をいたします。お気軽にお問い合わせください。

●文化芸術復興創造基金お問い合わせ
基金部企画調査課
電話　03-3265-6302（平日10～18時）
ファックス　03-3265-7474
E-mail　kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp

●くろごちゃんファンドお問い合わせ
寄附担当（お客様相談室）
電話　03-3265-7411（代表･平日10～18時）
ファックス　03-3265-7402
E-mail　donation@ntj.jac.go.jp

令和2年8月1日発行　通巻625号（昭和43年5月1日創刊）
発行　独立行政法人　日本芸術文化振興会　〒102-8656　東京都千代田区隼町4-1　03-3265-7411（代表）
印刷　勝美印刷株式会社

人形浄瑠璃 文楽 Bunraku

令和2年 9月5日（土）～22日（火・祝）

国立劇場 公演再開！

『寿二人三番叟』撮影＝二階堂健

〈第一部〉午前11時開演
寿二人三番叟
嫗山姥
廓噺の段

〈第二部〉午後1時45分開演
鑓の権三重帷子
浜の宮馬場の段／浅香市之進留守宅の段／数寄屋の段／伏見京橋妻敵討の段

〈第三部〉午後5時開演
絵本太功記
夕顔棚の段／尼ケ崎の段

〈第四部〉午後7時45分開演
【文楽入門】～Discover BUNRAKU～
解説 文楽をはじめよう
壺坂観音霊験記
沢市内より山の段

ご観劇料（税込）　※学生・障害者の方は割引あり
◎第一部～第三部（各部）
1等席 5,500円／ 2等席 4,600円
◎第四部
1等席 4,500円／ 2等席 3,800円
●字幕表示がございます。

予約開始＝8月14日（金）午前10時～

【電話】
国立劇場チケットセンター［午前10時～午後6時］
0570（07）9900　03（3230）3000［一部IP電話等］

【インターネット】 国立劇場チケットセンター 検索

窓口販売開始＝8月15日（土）
〈チケット売場　午前10時～午後6時〉
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

新型コロナウイルス感染予防への対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。
詳細はホームページをご覧ください。

東京・半蔵門
国立劇場 小劇場
日本博　beyond 2020

〒102-8656 千代田区隼町4-1 Tel.03-3265-7411（代表） https://www.ntj.jac.go.jp/

国立劇場チケットセンター（午前10時～午後6時） ☎0570（07）9900 〈一部IP電話等〉03（3230）3000